



平成22年度までを基本計画期間とする「第8次総合発展計画」の達成率は21%になっています（平成20年に完成予定の「長林大浦線」）



三ヶ尻隆雄議員

## 財務行政

# 第8次町総合発展計画の実績

## 事業費ベースの達成率は21%

### 質問

- ① 第8次町総合発展計画の実績と達成見込みは。
- ② 新年度の地方交付税の見込みは。
- ③ 三位一体改革に伴う町税の見込みは。
- ④ 国の行財政改革の予測は。

沼崎町長

① 12月末時点での達成率は、総事業数73事業に対し、

18年度は61事業に着手しており、5年間の総事業費における達成率は18・22%である。また、新規事業を加えた総事業数は98事業で84事業に着手しており、事業費における達成率は20・87%である。② 平成19年度分はまだ不透明である。国における予算においては、出口ペー

## 町の考えを聞く

### 道路行政

## ふるさと農道桜野線の対応策

## 地権者の理解が得られれば事業化

- ③ スでマイナス4・4%の見込みであり、増額を期待できる状況にはない。
- ④ 税源移譲により、町民税

個人分を前年度当初比較で1億1400万円の増と見込んでいるが、所得譲与税が廃止されることから、その差は360万円の減と見込んでいる。④ 今後も地方単独事業を3%程度削減する方針が継続される予定であり、町の行財政改革を着実に進めていく。

### 質問

- ① 本町の観光産業は、日帰り観光が91%と通過型観光である。滞在型観光の対策は取らないのか。
- ② 通称「ふるさと農道桜野線」の対応策は。

沼崎町長

① 本町で収容人数が最も多い宿泊施設が閉鎖したことは滞在型観光に大きな打撃であった。町としては、旅館や民宿の経営者、観光協会など産業団体と連携しながら、カキまつ

りや鮭まつりなど四季のイベントを継続し、地域資源を生かした、グリーン・ツーリズム、マリンスーリズム、農林水産業就業希望者の体験事業などに取り組み、交流人口の拡大を進め滞在型観光の振興に結び付けたい。② 過去に中止としたが、地域住民の強い要望を受けて検討した結果、新年度に地権者交渉を行い、理解が得られれば事業化に向け準備に入りたい。